

人を大切にする心を育むために ～他者と共に生きる～

12月4日～10日は「人権週間」です。この期間は、すべての人がかけがえのない存在であり、互いの違いを認め合い、尊重し合うことの大切さを改めて考える期間です。

「人権」というと、どこか難しく感じられるかもしれませんが、私は「人を大切にする心」が人権そのものだと考えています。

小学校は、子どもたちが社会の一員として第一歩を踏み出す場所でもあります。仲間と関わる中で、時には意見がぶつかることもあります。そんな時に、「相手の気持ちを考える」「違いを受け入れる」ことができるかどうか、人権感覚の育ちに大きく関わってきます。

本校では、『自他のよさを認め合い、共に高まり合える子』を目指して、日々の生活や学習の中で、子どもたちが互いを尊重し思いやる心を育めるよう取り組んでいます。どの学級でも「かがやき見つけ」を行い、仲間のよいところ、自分自身の輝きを紹介し、自分や仲間のよさを認め合う場を位置付けています。

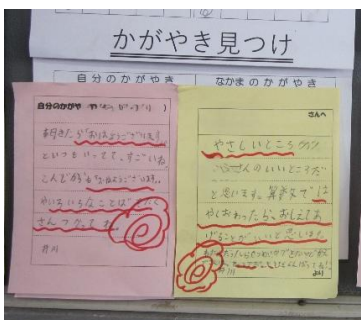
また、毎月の「いじめを見逃さない日」や道徳や学級活動、「ひびきあい活動」などの時間に「思いやり」や「多様性」、「ふわふわ言葉」や「いじめゼロ宣言」、「いじめのない学校づくり」について考えています。

仲間とトラブルがあった時には、「何がいけなかったのか。」「相手はどんな気持ちだと思う?」「あなたはどんな気持ちだった?」「どうするとよかった?」など、その行動について一緒に考えることを大切にしています。

子どもたちは日々の生活の中で大人の姿を見て学びます。子どもたちにとって一番身近な大人は、私たち教職員であり、保護者の皆様、地域の皆様です。日々の会話の中で「ありがとう。」「ごめんね。」「大丈夫?」といった言葉を交わすこと、「どうしたの?」と、誰かの違いや困りごとに気づき、寄り添う姿を見せることは、子どもたちの心に大きく響くと思います。

「人を大切にする心」は、日々の小さな積み重ねが大切です。

子どもたちが、相手を思いやる心を持ち、自分自身も大切にできるように、学校でも、家庭でも、地域でも同じあたたかいまなざして、子どもたちを育てていければと思います。



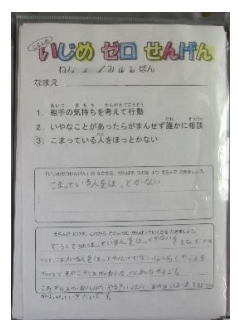
【かがやき見つけ】



【大切にしたいふわふわ言葉】



【いじめゼロ宣言】



＜岐阜市人権シンボルマーク「あったかハートちゃん」＞